

Gikai-plus かしわ

かしわ市議会だより

令和7年第3回定例会号

- 9月定例会の議案をピックアップ ▶ P. 2
- 質疑並びに一般質問 ▶ P. 3
- 常任委員会:新たなメンバーでスタート! ▶ P. 7
- 新正副議長を選出など ▶ P. 8



「議会プラスかしわ」は、「見やすく・わかりやすく・読みやすく」という3つをプラスしたいという思いを込めたロゴマークです。

災害に強いまち「かしわ」へ 屈折はしご付消防ポンプ自動車・プライベートルームなど



9月定例会では、本会議・総務市民委員会において、防災に関する議論がありました。

ここでは、今定例会にて全会一致で可決された、災害対応に係る「財産の取得について」を取り上げます。



可決 財産の取得について

災害対応に係る財産を取得するための3議案を可決しました。

災害対応 特殊屈折 はしご付 消防ポンプ 自動車 	旭町消防署に配備している「はしご車」について、購入後20年が経過しました。経年による不測の故障を防止し、災害活動の効率化を図るために、車両の更新をするものです。現在のはしご車は、高さが15メートルですが、更新後25メートルになり、消火能力・作業範囲が向上します。
災害対応 特殊救急 自動車 	西部消防署富勢分署に配置している救急車について、更新基準（経過年数・走行距離）を超過していることから、不測の事故を防止するために更新をするものです。
災害対策用 プライベート ルーム 	災害時に避難した方のプライバシーの確保や、感染症対策など、避難所における生活環境の改善を目的に取得するものです。

こんな質疑がありました。

本会議

Q 「屈折はしご付消防ポンプ自動車」と「災害対応特殊救急自動車」について、隣接する松戸市には、消防救急車と呼ばれる消防車と救急車の機能を併せ持ち、火災の際は消防車として消火活動を実施し、救急の際は救急車として室内での応急処置や傷病者を病院に搬送する車両が配備されている。消防機能もしくは救急機能に特化した最新車両を順次整備していくことも重要だが、一つの選択肢としてこの消防救急車を導入することも検討の余地があると思うがどうか。

A 消防救急車は、2つの機能を1つにすることで取得費と維持管理費の削減が見込めることや、限られた人員で複数の災害に対応することができるが、その一方で消防自動車としては消火用の水タンクや、消火・救助に必要な資機材が十分に積載できず、トラックベースのた

め振動が大きく、乗り心地が悪いことから、救急自動車としては活用が難しい車両であると考えている。

また、本市においては、消防ポンプ自動車と救急自動車をそれぞれ運用できる体制を整備していることから、現段階で消防救急車を導入する予定はないが、今後も消防自動車等の開発メーカーや他消防本部の動向を継続的に調査し、情報収集に努めていく。

総務市民委員会

Q プライベートルームは他自治体でも購入されているが、何か特徴はあるのか。

A 骨組みを組み立ててつくるものではなく、取り出して開けば瞬時に立ち上がるものとなっているため、短時間で設営できるのが特徴である。

柏市議会 9月定例会の 流れ

本会議 委員会

9月5日 開会 本

- ・選挙により正副議長を選出(8面参照)
- ・市長から市政報告、議案の提出

9月11日~19日 本委

- ・22人が登壇し、議案及び市政に関する質疑並びに一般質問(3~6面参照)
- ・[9月11日] ①各委員会正副委員長を互選(7面参照) ②議案第31号、第32号について、委員会付託・討論を省略し、採決

9月22~24日 委

- 総務市民・健康福祉・教育子供・建設経済環境の4常任委員会にて議案や請願を審査

9月26日 本

- ・決算に関する議案を除いた議案について、各委員長からの審査の経過と結果の報告の後、討論を経て採決(議決結果は2面参照)
- ・追加議案(議案第33号~第37号)の提出

10月2日 閉会 本

- 決算に関する議案について、各委員長からの審査の経過と結果の報告の後、討論を経て採決(議決結果は2面参照)